

「花の種銀行」便り

第22号

H23.8.1



「花を育て隊」作業風景

7月13日、常田新橋南側花壇の草取りをしていただいた時の写真です。
暑い中作業に参加して下さった皆さま、本当にありがとうございました。

第5回「上田市花と緑のまちづくりコンクール」を開催します

花づくりを通じて、美しく潤いのある快適なまちづくり、地域づくりを進めるため、今年も「上田市花と緑のまちづくりコンクール」を開催します。

自薦、他薦は問いませんので、花づくりをされている皆さまのご応募をお待ちしています。

対象

- ◆団体部門 / 自治会・育成会などの各種団体が管理する道路沿いの花壇、プランター等
 - ◆個人部門 / 個人が管理する庭や玄関アプローチ、壁面など
 - ◆学校部門 / 学校や緑化委員会などが管理する花壇、プランター等
- ※応募期間内に咲いている花が対象です。

応募方法

公園緑地課または丸子・真田・武石の各地域自治センター建設課にある応募用紙に必要事項を記入し、写真を添えて応募してください。

応募期間

平成23年7月19日（火）から8月12日（金）まで

詳しくは上田市役所公園緑地課までお問い合わせください。（電話：0268-23-5134）

なぜ切り戻しが必要か

よい環境が保たれ、手入れが適切であれば植物は旺盛に生長しますが、生長がよすぎて茎が伸びすぎたり、全体の草姿が悪くなってしまったら、一度茎を短く切り戻すことが必要です。

開花期の長い植物は、葉や茎ばかりが縦に伸びるエネルギーを使い、花つきがだんだん悪くなってしまふことがあります。伸びすぎた部分をバツサリ切ることで元気に回復し、新しい芽や大きな花が、どんどん出てきます。

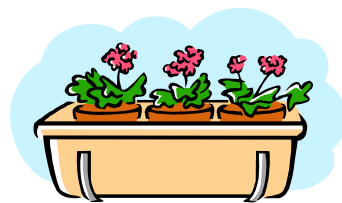
また、植物にとって過ごしにくい季節は、少しでもエネルギー消費を控え、株を保護するために、一度茎を短く切り戻します。植物にとって切ることが刺激となり、その後は勢いよく生長します。

切り戻しのポイント

- ①茎を切る時、つぼみがつく新芽を残し、その5mmぐらい上のところを切るようにします。だいたい草丈の2分の1から3分の1ぐらいの高さに切り詰めます。
- ②切り戻しの後には必ず追肥を行います。効果のゆっくり現れる緩効性肥料を与え、わき芽の生育を促進させてあげます。

切り戻しをするとよい植物

アジサイ、アメリカンブルー、アリッサム、インパチェンス、カランコエ、キク、金魚草、クレマチス、コスモス、サルビア、ジニア、ゼラニウム、トレニア、ナスタチウム、ナデシコ、バーベナ、ハイビスカス、バラ、ブラキカム、ペチュニア、ポーチュラカ、マーガレット、ラベンダー、ランタナなど

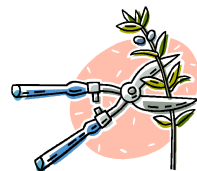


さし芽(木)

丈夫に育てた苗を増やしてみましよう

生長期の植物の茎や葉、枝先などの部分を切り取って(さし穂)発根させ、新しい株を作る方法で、草花の場合をさし芽、花木の場合をさし木といいます。これらはよい親株と同じ苗を一度にたくさん増やすときに最適な方法で、ほとんどの草花で行うことができます。

多くの場合、さし芽(木)の適温は気温 15~25℃の頃。よく切れるナイフやはさみを使いましょう。



さし穂のつくり方とさし方

- ①勢いがよく、傷んでいない新芽部分を 10~15 cmほどの長さに切り取り、さし穂にする。
- ②切った部分の下半分ぐらいの葉を摘みとる。残した葉が大きい場合は半分の大きさに切り落とす。
- ③水分を吸収する面積が広がるように、ナイフなどの鋭い刃物で切り口を斜めに切り直す。
- ④水を入れた容器にさし穂の切り口を浸け、30分ほど水あげをする。(葉を濡らさないように注意)
- ⑤パーミキュライトや赤玉土(小)などを容器に入れて湿らせ、割り箸などで穴をあけてさし穂をさす。

簡単にさし芽で増やせる植物(適期とポイント)

- ・ **アゲラタム**…5~7月。若い枝を、上葉4~5枚残し、下葉を取り除いてさし穂にする。
- ・ **インパチェンス**…5~6月。太く、花芽のついていない枝を切ってさすと、簡単に発根する。
- ・ **バジル類**…6~9月。花芽のない若い枝を、上葉を残し下葉を取り除いてさし穂にする。
- ・ **ペチュニア**…6~9月。摘芯、切り戻しをした時の若い枝をそのつど利用する。
- ・ **マリーゴールド**…5~6月、9~10月。伸びている若芽か、花後に切り戻した枝を利用する。
- ・ **ゼラニウム**…9~10月。若い枝を切り、切り口を日陰で1~2日乾燥させてからさす。
- ・ **宿根バーベナ**…4~6月、9~10月。勢いのよい枝を選び、2節ほど残して切る。

花の種銀行ニュース

「種から育てる花づくり講習会」を開催

上田市農業バイオセンターの武田正男先生を講師にお迎えし、3月17日にデザイン・基本編の講習会を開催しました。

花の特徴や上田に適した花づくりを、気温や土の種類・肥料などの基本的なことから丁寧に教えていただき、参加者からは非常にわかりやすかったと大好評でした。

5月11日に予定していた種まき実技編は、雨のため残念ながら中止となりました。

「花の種銀行」設立10周年を迎える

「花の種銀行」が4月16日に、設立10周年を迎えました。これを記念して、この春、市役所本庁を始め各地域自治センターに種を数種類用意し、訪れてくださった皆さまに自由にお持ちいただきました。

「花の種銀行」の存在を知らない市民の方もまだまだ大勢いらっしゃると思います。これを機に会員が増え、上田市が花のある美しいまちになることを期待します。

また、昨年に引き続き、4月23日の信濃毎日新聞に「花の種銀行」が掲載されました。ご覧になった会員の皆さまも多いのではないのでしょうか。

「花の種銀行」はこれからも皆さまの花づくりのお手伝いを続けていきますので、今後ともよろしく願いいたします。

「花を育て隊」今年も頑張る！

今年も6月15・16・17日の3日間、夏苗の植え付け作業を行いました。参加してくださった皆さまのおかげで、マリーゴールドやサルビア、ペチュニアなど色とりどりの花々が、夏の花壇を華やかに彩っています。



また、7月13～15日には昨年に引き続き花壇の草取りをし、こちらにも大勢の方が参加してくださいました。雑草がなくなり、花壇がよりいっそう美しくなりました。

今回は9時半からのスタートでしたが、暑さが非常に厳しく、来年は早朝からの実施を検討したいと思います。



(常田新橋南側、草取り作業後の花壇)

植え付け・草取りに参加してくださった皆さま、本当にお疲れさまでした。

「花を育て隊」のボランティアは常時募集しております。

参加ご希望の方は電話、FAX、はがきで公園緑地課までお申し込みください。作業日程をご連絡しますので、都合のよい日にご参加ください。次回はピオーラのポット上げを予定しております。

花の写真募集中！

「花の種銀行」の種から育てた花の写真や画像を募集しています。会員の皆さまが丹精こめて育ててくださった花の画像をぜひお寄せください。写真や画像を市のホームページで紹介させていただきます。

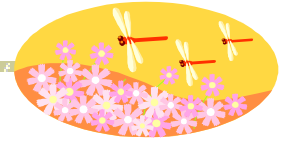
写真は公園緑地課窓口へ、画像は下記アドレスへメールにてお送りください。応募の際、応募用紙に必要事項をご記入いただきますので、詳しくは公園緑地課へお問い合わせいただくか、市のホームページをご覧ください。

koen@city.ueda.nagano.jp

その1. 秋まきの種、用意しました！

花の種銀行では、これから種まきをする秋まきの種をご用意し、皆さまをお待ちしています。

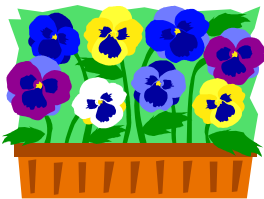
アグロステンマ、イソトマ、かすみ草、金魚草、金せん花、シノグロッサム、宿根ネメシア、ネモフィラ、ノースポール、花菱草、葉ポタン、パンジー、ビオラ、ポピー、モイワナスナ、ルピナス、ロベリア、ワスレナグサなど



その2. 「種から育てる花づくり講習会」(パンジー・ビオラ編) 開催

♪パンジー・ビオラが花づくりの基本になりますので、初心者の方、ぜひご参加ください

- 日時・場所・・・8月31日(水) 午前9時30分～11時30分 国分寺史跡公園
- 講師・・・武田正男さん(上田市農業バイオセンター)
- 申込み・・・8月29日(月)までに電話またはFAXで公園緑地課へ
- 内容・・・秋まきの草花の種のまき方、冬の越し方、花の咲かせ方のポイントについて
- 持ち物・・・実際に種まきをしていただきますので、次のものをご持参ください。



- 土(市販の「プランターの土」または「培養土」)
 - 種をまく容器(プランター・鉢など・・・深さが7～10cmあれば十分です)
 - 種(お好きな種を持参するか、事前に「花の種銀行」をご利用ください)
- ※屋外での講習になりますので、帽子などをお忘れなく。

高校生の頃、2年間物理の担当だったE先生にちょっぴり憧れていた。

20代後半の若い先生で、白衣と眼鏡がとてもよく似合っていた。私は先生の物静かな話し方や、淡々と冗談を言うところが好きだった。しかし物理は大嫌いで大の苦手だった。グループごとに実験をしてレポートにまとめる時も、勝手に関係のない番外実験をやってはそちのレポートをせさせと書いて提出していた。2年生の最後の授業の時、レポートを読むのが楽しみだったと先生が言ってきて嬉しかった。

3年生の最後の物理の授業の日、私はE先生に花束を贈ろうと思った。昼休みに花屋へ行き、スイートピーを買った。名前も色も、何よりかわいらしい花の形が好きだった。クラスで一番活発な女子に、授業の最後にこの花束を先生に渡して欲しいと頼んだ。「自分で渡せば？」と言われたが、そんな勇気はなかったので、クラスからということで彼女に花束を託した。

花束を渡された時、先生は一瞬驚いたような顔をした。でもすぐに、ちょっとはにかんだような笑顔になって「ありがとう」と言った。私は自分で渡さなかったことを少しだけ後悔した。

公園緑地課で花の種銀行の担当になった時、自分でも花を育ててみようと思った。会員登録をし、最初に借りた種はスイートピーだった。

厳しい冬を越し、翌年の春、思い出のスイートピーは蝶の形の可憐な花を咲かせた。(Y)

